

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、22人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

(一) 内には、各会派などからの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	335分
誠友会	5人	225分
公明党	4人	225分
市民連合	3人	175分
新政クラブ	1人	100分
無所属	3人	各30分



おた 祐介
大田 祐介
(65分)
水曜会

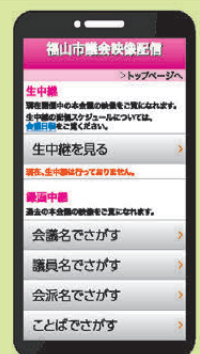
第45回ふくやまマラソンは

問 ハーフマラソンは名所であるばら公園や福山城を周回するコース設定で大きな反響を呼んでいる。一方、交通規制等を懸念する声もあるが、コース設定に当たり工夫した点は。また大会を盛り上げるための方策は。

答 市民の皆さまも応援に参加

インターネットでの視聴も便利です。

各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると一般質問の録画が視聴できます。
インターネットの福山市議会映像配信では生中継の配信も行っていますので、次回9月定例会開催時には、ぜひご活用ください。



し、ランナーの走る姿を見て、スポーツにより一層興味を持っていただきたいと思う。また、ランナーが制限時間内に通過しなければならぬチェックポイントを増やすことや、国道2号を通行しないことなどにより、交通への影響が最小限となるよう配慮している。
大会を盛り上げるため、ゲストランナーの招聘をはじめ、地域の方による沿道での応援や、学生の演奏による応援、給水所での地元産品の提供など、参加者と市民が一体となって楽しめる大会となるよう準備を進める。



きだ 紘平
喜田 紘平
(55分)
水曜会

通学路の安全対策は

問 ①現状と課題は。
②車両の歩道進入を防ぐ物理的防護対策が有効と考えるが。

答 ①2年に一度、全市的な合同点検を実施しており、通学路の危険箇所を的確に把握し必要な対策を着実に進めることができています。課題としては、さま



きむら 素子
木村 素子
(65分)
水曜会

エンディングノートは

問 どのような役割や効果が期待されるか。

答 緊急連絡先などの情報や財産の状況、医療、介護や最期の迎え方等についての思いを整理し、本人の思いを見える化することで終活に取り組みきっかけを作るものである。また、いざというとき

さまざまな事情から歩道や横断歩道の待機場所が確保できないことや、水路の蓋かけ等ができないことからやむを得ず対策が未実施となる場合がある。その場合は他の道への迂回など可能な対策を講じていることと通学路の安全を確保している。
②通学路の合同点検結果に基づく必要箇所などにおいて、歩道の広さや交通状況等を総合的に勘案し歩道と車道の境にガードレールやコンクリート製の車止めを設置するなどの物理的な安全対策を行ってきた。引き続き、地域や警察と連携して対策を実施していく。
に本人の意向を家族などが確認できることで、周囲の不安や迷いの軽減にもつながるものと考えている。
エンディングノートの配布とともに、本人の置かれた状況や思いを丁寧に伺いながら作成を支援する相談窓口を8月に開設することになっている。相談を受ける中で孤立していると思われる高齢者を把握した場合には、地域の通いの場へつなげたり、判断能力が不十分で日常生活における支援が必要な方を把握した場合には、成年後見制度につなげるなどの支援を行っていく。